

2021年3月25日

「まちだの新たな学校づくり審議会」の審議状況について

町田市教育委員会

学校教育部教育総務課

説明者：鈴木（総務係担当係長）

本日は、「まちだの新たな学校づくり審議会」についての意見交換会にお招きいただきありがとうございます。

教育委員会が設置した「まちだの新たな学校づくり審議会」では、児童・生徒数が20年後に30%減少する未来と、学校施設の老朽化という課題に対応するために、学校統廃合を含めた通学区域の見直しと、学校統廃合をきっかけにした新たな学校づくりを進めるために、「町田市新たな学校づくり推進計画」という計画を立てるための議論をしています。

議論の中では、具体的な通学区域の議論や学校統廃合を行う場合の学校候補地（新たな学校づくり候補地）の議論をしていますので、教育委員会には、ご心配の声や統廃合が避けられないのであれば求めたい配慮などについて、アンケートや意見募集、お電話や面談などでご意見をお寄せいただいています。

教育委員会からも、各地域に対して審議状況を積極的にご説明させていただきたいところですが、審議会で結論が出ていない内容について、行政主催で説明会を開催することが難しい状況です。そのため、今回のような意見交換会という形でご説明する機会をいただけたことに大変感謝しております。

審議会の資料において、「統合可能年度」と呼んでいる年度を示して議論を行っており、その優先順位の1位にゆくのき学園が挙げられていることから、すぐに統廃合されてしまうのではないかと不安が広がっていることをお聞きしています。

また、保教の会から教育委員会に意見を届けるために独自のアンケート調査を実施したことをお聞きし、3月18日に教育委員会へお送りいただきました。極めて短い期間にアンケート調査を実施していただいた保教の会役員の皆さま、そしてお気持ちを書面で表していただいた保護者の皆様に御礼を申し上げたいと思います。

届けていただいた「ゆくのき学園（大戸小・武蔵岡中）における審議会答申案についてのアンケート」をすべて拝見いたしまして、統廃合に反対される理由やゆくのき学園を残したい理由を読ませていただきました。

そのお気持ちを十分理解したうえで、なぜ町田で学校統廃合の議論をせざるを得ないのか、どのような議論をしているのかについてご説明します。そのうえで、皆様と意見交換をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。